

## 平成30年度 国リハ ASD 支援者連携セミナー（第2回）実施要綱

### 1 目的

自閉症の特性と個別支援の基本的な考え方を理解し、アセスメントの仕方を中心に、支援計画立案・実習・再アセスメントの実践を通じて、支援の実践力充実を図るとともに、受講生のネットワークを構築し、支援に活かすことを目的とする。

### 2 主催

国立障害者リハビリテーションセンター

### 3 期間

平成31年1月31日（木）～2月2日（土）

### 4 場所

国立障害者リハビリテーションセンター学院（埼玉県所沢市並木4丁目1番地）

### 5 受講定員

12名

### 6 受講資格

当センター主催の自閉症支援入門研修会またはこれと同等以上の研修会を修了した者、またはこれらに準ずる力を有すると学院長が認める者（経験年数おおよそ3年以上）

### 7 研修内容

別紙日程表のとおり

### 8 研修会費用

2,000円（初日に現金徴収する。なお、宿泊費及び食費は含まない。）

500円（2日目に現金徴収する）※3日目午後の⑨振り返り・まとめ（日程表参照）時のワールドカフェ飲食代

### 9 受講手続

受講希望者は、国立障害者リハビリテーションセンター学院ホームページ（下記URL）にアクセスし、申込案内に従いお申し込み下さい。

支援経験3年未満で「『自閉症支援入門研修会』又は、これと同等以上の研修会の修了」を受講を要件に申込される方は、「過去の研修会参加実績」欄に受講年度及び研修会名称、主催者名称（当センター主催以外の場合）を記載して下さい。

### 10 申込締切

平成30年12月17日（月）17:00

※12月8日（土）は当センターのシステム更新作業のため、受講申込はできませんので、予めご了承下さい。

### 11 受講決定

選考のうえ、12月25日（火）までに、ご登録いただいたメールアドレス宛て通知します。定員を上回る応募があった場合は「自閉症支援入門研修会」受講者を優先に選考させていただきます。

## 12 修了証書

全日程の研修会修了者に対し、修了証書を授与します。

## 13 宿泊施設

①本センターの研修用宿泊施設に宿泊希望する者は、申込書式の該当欄にチェックをして下さい。

②宿泊費用は一泊2,730円（初日に宿泊日数分を徴収します）。但し宿泊は研修会当日（1月31日）からとし、初日の研修会終了後の入舎となります。

※研修前日の宿泊はできません。

③宿泊内での食事の提供はございません。素泊まりのみとなります。

④宿舍の詳細については当センター学院HPに掲載しています。

（トップページの「研修宿舍」）

## 14 セミナー参加の留意点

当セミナーは自閉症の方に協力者としておいでいただき、受講者全員が支援の実習を行います。そのため定員を少人数に設定しており、毎回申込が定員を上回る状況です。

セミナーの趣旨と研修内容をよくご検討いただき、ご自身のスケジュール等も吟味された上でお申し込みいただき、途中リタイアなどのないようお願い申し上げます。

実践形式を含むセミナーのため、2日目は実習準備に時間を要します。その状況によりお帰りが遅くなる（最長19：30まで延長する）こともございますので、ご承知おき下さい。

## 15 その他

①お申し込みの際はお名前の文字等、正しくご入力ください。

お申し込み後に入力事項の誤りに気づかれた場合は下記にご連絡ください。

②受付時の費用支払いは、釣り銭のないよう、ご協力願います。

③本研修会に関する照会は、国立障害者リハビリテーションセンター学院にお願いします。

④研修会最終日の終了時間は、プログラムの進行上延長もしくは変更される場合があります。お帰りの航空機、列車等の手配は予め時間に余裕をもってご準備願います。

⑤一部聴講は受付しておりません。

〒359-8555

埼玉県所沢市並木4丁目1番地

国立障害者リハビリテーションセンター学院

TEL 04-2995-3100（内線2619）

FAX 04-2996-0966

mail ml-gakuin-ken5@mhlw.go.jp

URL [http://www.rehab.go.jp/College/japanese/kenshu/schedule\\_2018/](http://www.rehab.go.jp/College/japanese/kenshu/schedule_2018/)

平成30年度 国リハ ASD 支援者連携セミナー（第2回）日程表

日 付	午 前	午 後
1月 31日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受付 (9:30-9:50)</li> <li>・ 開講式・オリエンテーション (9:50-10:05)</li> <li>①研修のねらいと ASD 支援者連携のポイント (10:05-10:20)</li> <li>国立障害者リハビリテーションセンター 学院 主任教官 川渕 竜也</li> <li>②講義 支援者連携の課題と方向性 (10:30-12:00)</li> <li>NPO 法人みらい 事務局長 藤井 亘</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>③講義 自閉症スペクトラム障害への支援 (13:00-14:30)</li> <li>社会福祉法人緑の風 千代田区立障害者就労支援施設 ジョブ・サポート・プラザ ちよだ 所長 中村 公昭</li> <li>④講義 アセスメントの力量を高める (14:40-15:40)</li> <li>国立障害者リハビリテーションセンター 発達障害情報・支援センター 主任企画情報専門官 林 克也</li> <li>⑤グループミーティング・グループワーク ～協力者のアセスメント・支援計画作成～ (15:50-18:00)</li> <li>・会場見学</li> <li>・支援計画作成</li> </ul>
2月 1日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑥グループミーティング・グループワーク・発表 ～支援計画の発表～ (9:00-10:00)</li> <li>・グループ毎に支援課題・支援計画発表</li> <li>・支援計画のすり合わせ</li> <li>・支援手順書の作成</li> <li>・支援ツール作成・準備</li> <li>⑦グループミーティング・グループワーク ～実習準備～ (10:00-11:00)</li> <li>・すり合わせ後の支援計画修正</li> <li>・支援手順書の作成</li> <li>・支援ツール作成・準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑧グループミーティング・グループワーク ～実習に向けた再検討～ (12:00-13:50)</li> <li>・シミュレーション結果を踏まえて修正</li> <li>・実習に向けての作業</li> <li>⑨グループ発表 ～実習の流れ・シミュレーション発表～ (14:00-14:50)</li> <li>・グループ毎にシミュレーション発表</li> <li>・場面毎に質疑・コメントしながら実施</li> <li>⑩グループミーティング・グループワーク ～実習準備とシミュレーション・再検討～ (15:00-18:00)</li> </ul> <p>※準備状況によって最長で19:30まで延長する場合あり</p>

2日 (土)	⑪実習準備 (9:00-9:30) ・実習に向けて最終チェック	⑬振り返り・まとめ (13:15-15:30) ワールドカフェ方式
	⑫実習 (9:45-12:00) ・実習 (30分程度) ・再アセスメントによる再構造化 ・実習 (30分程度) ・片付け、実習まとめ	・閉講 (15:30)
⑤~⑬ 国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 診療部発達支援課長補佐 小池千鶴子 診療部発達支援課臨床心理・言語聴覚係 山田 美希 国立障害者リハビリテーションセンター 発達障害情報・支援センター 主任企画情報専門官 林 克也 学院 児童指導員科 主任教官 関 剛規 学院 児童指導員科 教官 川淵 竜也		

※プログラムは変更される場合がありますので、予めご了承ください。